

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成26年2月19日

【四半期会計期間】 第94期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社大運

【英訳名】 DAIUN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋健一

【本店の所在の場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 06(6532)4101

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野弘一

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 06(6532)4101

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野弘一

【縦覧に供する場所】 株式会社大運 神戸支店
(神戸市東灘区向洋町東三丁目)
株式会社大運 名古屋支店
(名古屋市中区丸の内一丁目4番12号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年8月14日に提出いたしました第94期第1四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第1部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

港湾運送事業

自動車運送事業

第4 経理の状況

1 四半期財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

(訂正前)

港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものがありました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、1,477,550千円で、前年同四半期累計期間と比べ、38,334千円(2.5%)の減収となり、全セグメントの95.2%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、91,116千円で、前年同四半期累計期間と比べ、13,816千円(17.9%)の増益となりました。

自動車運送事業

当セグメントにおきましては、堅実な業績改善を図ることができました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、71,897千円で、前年同四半期累計期間と比べ、9,837千円(15.8%)の増収となり、全セグメントの4.6%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は、25,571千円で、前年同四半期累計期間と比べ、28,228千円(前年同四半期累計期間は 2,657千円)の増益となりました。

(訂正後)

港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は厳しいものでありました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、1,477,550千円で、前年同四半期累計期間と比べ、38,334千円（2.5%）の減収となり、全セグメントの95.2%を占めております。

セグメント利益（営業利益）は、124,752千円で、前年同四半期累計期間と比べ、47,452千円（61.4%）の増益となりました。

自動車運送事業

当セグメントにおきましては、営業収入は堅調に推移したものの、採算面で厳しさが増しました。

この結果、営業収入（セグメント間の内部売上高又は振替高を除く）は、71,897千円で、前年同四半期累計期間と比べ、9,837千円（15.8%）の増収となり、全セグメントの4.6%を占めております。

セグメント損失（営業損失）は、8,064千円で、前年同四半期累計期間と比べ、5,407千円（前年同四半期累計期間は 2,657千円）の減益となりました。

第4【経理の状況】

1【四半期財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期財務 諸表計上額 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,477,550	71,897	1,549,448	2,484	1,551,932	-	1,551,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	380,050	108,417	488,467	-	488,467	488,467	-
計	1,857,600	180,315	2,037,915	2,484	2,040,400	488,467	1,551,932
セグメント利益	91,116	25,571	116,687	2,453	119,141	95,639	23,502

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおりません。
2. セグメント利益の調整額の内容は、95,639千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期財務 諸表計上額 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,477,550	71,897	1,549,448	2,484	1,551,932	-	1,551,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	380,050	108,417	488,467	-	488,467	488,467	-
計	1,857,600	180,315	2,037,915	2,484	2,040,400	488,467	1,551,932
セグメント利益	124,752	8,064	116,687	2,453	119,141	95,639	23,502

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおりません。
2. セグメント利益の調整額の内容は、95,639千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。